

「僕のかなえたい夢」で入賞！



子どもたちの「夢」を育み、実現する活動を続けている、夢みる子ども基金（事務局：福岡市）が「私のかなえたい夢」の題材で募集した作文で、3296人の応募者の中から田中太朗くんが見事入賞を果たしました。

この写真は、「水で走る車を作りたい。そうすればガソリンもいらぬし、地球環境にも役立つ」という作文が実現したものです。水素カーに乗った田中君は「自分の夢の一部が実現した。こんな車が世界中に普及するように自分も活躍したい」と目を輝かせていました。

ぼくのかなえたい夢

たかのす小学校 三年 田中 太朗

ぼくのかなえたい夢は、水で走る車を作ることです。ぼくは一才のころから車で遊んでいて、四才のころから車を作りたいと思い始めて、よくブロックを使って車を作りました。なぜぼくが水で走る車を作りたいかと言うと、さいきんお母さんが「ガソリンがどんどん高くなるねー。」というので

「どうにか水で走る車を作れないかなー。」と思いました。水で走る車ができれば、家でねんりょうを入れられるし、地球にもやさしいし、はいきガスもきれいなので、地球おんだんかもふせげると思いました。ほかにも空気がきれいになって動物もよろこびます。しかもECOにもつながるのでとてもいいことだとぼくは思います。それからぼくの家では、お買い物の際に、エコバックを使うようになっています。そして電気などのつけっぱなしに気がついています。お父さんもお母さんも

「水で走る車を作れたらいいねー。」

と言っていたので、ぼくは水でもなく電気でもなく水で走る車を作って夢をかなえたいです。それもちゃんとしたスピードがすぐくでるスポーツカーや、人のたくさん乗れるワゴン車、としをとった人でも安心して乗れるけい自動車、色々なしゅるいを作りたいです。そして大きな会社をもちたいです。

「安心、安全、かく安。」

をテーマに水で走る車をどんどん広げて行きたいです。日本じゅうの人世界じゅうの人が水で走る車につつまれた星にしたいです。

「病氣見舞い」はおもいやり

新生活運動展開

病氣やけのお見舞いは、入院や療養している方を慰め励ますことが目的です。

しかし、いざお見舞いをしようとするとうまく使えないこともあるあります。病状が厳しく面会できないこともありますし、家族が会わせたくないときもありません。お見舞いの品では、昔は果物やお花が定番でしたが、食事制限があったり、お花の持ち込みを規制している病院もあつたりします。何がその人にとって一番よいか、いろいろ考えます。

さて、新生活運動では、お見舞いの金額は3千円以内程度とし、そしてお返しはなしと決まりました。高額のお見舞いをする、相手はお返しに頭を悩ますこととなります。病氣やけのお見舞いは、「どうぞ早く回復され、元氣になつてください」という気持ちを込めて行うもの。ご本人の負担になるようなお見舞いは控えたいものです。新生活運動の「お返し辞退シール」をご利用ください。

また、お見舞いをもらわれたかたも、お返しはやめましょう。お返しはないものとしてお見舞いをしたのに、お返しがあると困つてしまう相手の立場も理解すべきではないでしょうか。

いづれにしてもお見舞いは直接出向いて見舞つてあげることが一番ですが、ご家族などに病状などを聞いたうえで、相手を励め励ます「思いやり」を基本に行いたいものです。

◎問い合わせ先

新生活運動推進協議会事務局

（教育委員会社会教育課内）

☎（86） 1111 内線2231